

基礎分野

授業科目	論理学	担当教員	非常勤講師 渡邊 利昭	単位数	1	時期	1年次 4月～6月
				時間数	15		
目的と目標	<p>正しい判断や認識を得るために、学問である論理学を体系的に学び、論理的思考、文章読解・表現力を養う。</p> <p>1 先験論理学（今の認識論）、自由の論理等を学び論理学の基本的な概念を理解する。</p> <p>2 正しい思考の形式や法則を伝統的論理学や論理学を通して身につける。</p>						
回数	学習課題	内 容			方 法	担 当 教 員	
1	論理学を学ぶ意義	(1) ヘーゲルの「論理学を学ぶことは自己の訓練である」の言葉の意味			講義	非常勤講師 (渡邊利昭)	
2	論理学の発達と法則	(1) ソフィスト、ソクラテス、アリストテレスらの真偽のとらえ方 (2) 演繹的論理と帰納的論理 (3) インドの因明 (4) 自然の法則と当然の法則			講義		
3	思考の作用と	(1) 思考の概念			講義		
4	陥りやすい虚偽	(2) 判断とは (3) 判断の種類と分類 (4) 推理とは何か (5) 帰納推理 (6) 類比推理 (7) 悪循環の虚偽 (8) 記述・説明上犯しやすい虚偽 (9) 論証上犯しやすい虚偽					
5	オイラーの図形	(1) 集合や結合の関係を図形で表す方法 (2) 全称肯定から特殊肯定までの4つのタイプと相互関係			講義		
6	記号論理学	(1) 記号論理学とその実際 (2) 文章の記号化と練習			講義		
7	論理学演習	(1) 文章題を解く (2) 生活の場における論理学の実際			講義 演習		
8	試験(1時間)						
評価方法	筆記試験 90点＋授業態度・出席状況 10点 (合計 100点)						
教科書 参考文献	講師の提示する資料配布						
事前準備や 受講要件等							

授業科目	情報科学 I	担当教員	非常勤講師 深井 英和	単位数	1	時期	2年次 4月～5月
				時間数	15		
目的と目標	<p>統計における理論・手法を学び、統計的なものの考え方・推論方法を養う。</p> <p>1 記述統計学が理解できる。</p> <p>2 推測統計学の統計的推定が理解できる。</p>						
回数	学習課題	内 容			方 法	担 教 員	
1 2 3 4	記述統計学	<p>(1) 集団の特徴をとらえる (代表値) 平均値、分散、標準偏差</p> <p>(2) 集団の特徴をとらえる (分散) 度数分布、度数分布のグラフ化</p> <p>(3) 個々のデータの位置を知る 基準値、偏差値</p> <p>(4) 集団の特徴を分布曲線であらわす 正規分布、標準正規分布表の見方</p> <p>(5) 練習問題</p>			講義 演習	非常勤講師 (深井英和)	
5 6 7	統計的推定	<p>(1) 母集団と標本</p> <p>(2) 標本統計量の分布</p> <p>(3) 統計的推定の考え方</p> <p>(4) 母平均の推定</p> <p>(5) 練習問題</p>			講義 演習		
8	試験 (1時間)						
評価方法	筆記試験						
教科書 参考文献							
事前準備や 受講要件等							

授業科目	情報科学Ⅱ	担当教員	非常勤講師 深井 英和	単位数	1	時期	2年次 5月～7月
				時間数	30		
目的と目標	<p>統計についての基礎知識をもとに、コンピューターの基本的な操作方法を学び看護活動における統計的分析及び表現能力を養う。</p> <p>1 ワープロソフト (Microsoft Word) による文書処理ができる。</p> <p>2 表計算ソフト (Microsoft Excel) による表の集計、グラフ作成ができる。</p> <p>3 簡単なデータ分析、レポートが作成できる。</p>						
回数	学習課題	内 容			方 法	担 当 教 員	
1	ワープロソフト	(1) Word の基本操作			講義 演習	非常勤講師 (深井英和)	
2		(2) 文字の入力、文書の保存・文書を開く					
3		(3) 表の作成					
4		(4) 文書の作成と編集					
5		(5) 表現力をアップする					
6		(6) 図形描画機能の活用					
7		(7) レポート作成					
8	表計算ソフト	(1) Excel の起動と終了			講義 演習		
9		(2) Excel の基本操作					
10		(3) 表作成と編集					
11		(4) ワークシートの連携					
12		(5) データベースの利用					
13		(6) グラフ作成					
14	まとめ (1時間) 試験 (1時間)	(7) 簡単なデータ分析によるレポート作成					
15							
評価方法	筆記試験						
教科書 参考文献							
事前準備や 受講要件等	パソコン (Windows) 使用						

授業科目	外国語 I	担当教員 非常勤講師 白木 恵子	単位数	1	時期	1年次 9月～12月			
			時間数	30					
目的と目標	<p>日常的コミュニケーション英語に必要な語彙を習得し、国際化時代に必要とされる基本的な会話能力を身につける。また、医用英語の基本的構造を学び、医療の世界で用いられている専門用語についての語学的素養を培う。</p> <p>1 英語を聞き、発語することで英語のリズムをつかむ。 2 さまざまな看護の場面での会話を役割練習することにより患者に対して思いやりのある英語で語りかける実践力と自信を身につける。 3 医用英語の基本的構造を理解する。</p>								
回数	学習課題	内 容	方 法	担 当 教 員					
1 2 3	基本的コミュニケーション	(1) あいさつ、自己紹介 (2) 患者さんへの質問 (3) 場所や方向を正しく教える (4) 患者さんの具合を聞く	講義 演習	非常勤講師 (白木恵子)					
4	診察時の英語	(1) 診察室での指示	講義 演習						
5	相手を確認する方法	(1) 確認のための質問の仕方							
6	行為を促す働きかけ	(1) 相手に行為を促す言葉・表現方法							
7	身体の部位・症状を表わす英語	(1) 身体各部位や症状を表す言葉・表現方法							
8	患者さんへの指示・依頼	(1) 的確な指示や依頼をするときの表現方法							
9 10	食べ物に関する表現	(1) 食べ物、食事、アレルギー等についての質問や説明 (2) アレルギーに関する小エッセイを読む	講義 演習						
11	投薬の説明	(1) 薬の適切な服用方法を説明するときの表現							
12 13 14 15	医用英語の基本的構造 (7時間)	(1) 症例文を読み取る ・消化器系の用語と症例 ・泌尿器系の用語と症例 ・心臓、循環器、リンパ系の用語と症例 ・呼吸器系の用語 ・女性生殖器系の用語	講義 演習						
	試験 (1時間)								
評価方法	筆記試験								
教科書 参考文献	キュアとホスピタリティの英語 I (弓プレス)								
事前準備や 受講要件等	教科書を読んで講義に臨むこと。								

授業科目	外国語Ⅱ	担当教員	非常勤講師 KANKANIGE・ ERANGA・ HASANTHI	単位数	1	時期	2年次 4月～7月			
				時間数	30					
目的と目標	リスニング能力と会話能力を高める。 1 英語を話す外国人が日本を訪れた時に聞きとることができる。 2 日常生活に使う英会話ができる。									
回数	学習課題	内 容		方 法	担 教 員					
1 2	リスニング、会話	(1) 空港で出迎える時のあいさつ (2) 自己紹介、他人の紹介 (3) 過去形と現在完了形の違い (4) 加算・不可算名詞 (Many、Much) の使い方		講義 演習	非常勤講師 (KANKANIGE ERANGA・ HASANTHI)					
3	リスニング、会話	(1) 面接で使う表現 (2) What、Where、Why、When の使い方		同						
4	リスニング、会話	(1) ホテルで宿泊した時の表現 (2) Do Did Is Are Was Were の使い方		同						
5	リスニング、会話	(1) 目的地に行く道を尋ねる表現 (2) Do you know ? Can you tell me ? の使い方		同						
6	リスニング、会話	(1) 観光する時に使う表現 (2) 仮定法 (If ~will) の使い方		同						
7	リスニング、会話	(1) 買い物で使う表現 (2) 仮定法 (If ~ would) の使い方		同						
8 9	リスニング、会話	(1) 電話の応答で使う表現 (2) 報告① (時制の一致を主に)		同						
10	リスニング、会話	(1) レストランや趣味についての会話 (2) 報告② (時制の一致を主に)		同						
11	リスニング、会話	(1) 電車に乗る時の表現 (2) 報告③ (時制の一致を主に)		同						
12	リスニング、会話	(1) 数えられる名詞・数えられない名詞を使つての表現		同						
13	リスニング、会話	・診察・身体検査場面での会話 ・健康指導場面での会話								
14	リスニング、会話	・栄養相談場面での会話								
15	リスニング、会話 (3時間)	・身体症状の表現								
	試験 (1時間)									
評価方法	筆記試験									
教科書 参考文献	SIDE by SIDE THIRD EDITION BOOK 2 (PEARSON LONGMAN)									
事前準備や 受講要件等	教科書を読んで講義に臨むこと。									

授業科目	倫理学	担当教員	非常勤講師 津田 雅夫	単位数	1	時期	1年次 4月～6月
				時間数	30		
目的と目標	倫理学とは、「人間の在り方」を問う学問であるともいえる。具体的には、西洋倫理学の基本的な考え方や現代倫理学の諸問題を通して、生命の尊さ、人間尊重の態度を培う。 1 倫理的判断の基礎を理解する。 2 現代社会における倫理学の課題について考究する。 3 専門職業人としての倫理観を培う。						
回数	学習課題	内 容		方 法	担 当 教 員		
1	倫理学とは	(1) 倫理学とはいかなる学問か (2) 倫理と道徳について (3) 人間の持つ二面性 (4) 人間観の歴史と基本的人権		講義	非常勤講師 (津田雅夫)		
2	近代までの西洋倫理思想	(1) 古代の倫理思想		講義			
3		(2) 中世の倫理思想					
4		(3) 近代の倫理思想					
5	現代倫理思想	(1) 社会主義と倫理 (2) 実存主義と倫理 (3) 現代のヒューマニストたち		講義			
6	環境倫理	(1) 開発と自然破壊		講義 演習			
7		(2) 地球温暖化 (3) 母乳汚染 (4) 遺伝子組み換え食品、偽装問題 (5) 環境問題への対応					
8	生命倫理	(1) 生命の尊厳と人権問題		講義 演習			
9		(2) 臓器移植・脳死からの課題					
10		(3) 安楽死・尊厳死からの課題					
11		(4) クローン問題 (5) 不妊治療の課題 (6) 患者の権利と自律、インフォームド・コンセント					
12	職業倫理	(1) 人権擁護		講義			
13		(2) マスコミと倫理					
14		(3) 企業と倫理 (4) 公務員と倫理 (5) 看護倫理					
15	試験 (1時間) まとめ (1時間)	(1) 筆記試験 (2) まとめ		試験 講義			
評価方法	筆記試験						
教科書 参考文献	講義資料を配布						
事前準備や 受講要件等							

授業科目	家族社会学	担当教員	非常勤講師 神戸 博一	単位数	1	時期	1年次 10月～12月
				時間数	30		
目的と目標	<p>家族看護について必要な理由、発展、理念、実践を学ぶ。さらに現代家族の構造と機能、多様性と家族課題（ジェンダー役割、子育て、高齢化）について考察し、理解を深める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 家族看護について理解する。 2 家族の基本概念や類型を理解する。 3 家族の歴史や変化、現代社会の多様性を理解する。 4 現代の結婚と離婚について理解する。 5 高齢化と少子化の問題と対策について理解する。 						
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	家族看護学について	(1) 学ぶ理由、その発展と変遷		講義	非常勤講師 (神戸博一)		
2	家族看護学について	(2) 家族看護の特徴について		講義			
3	家族看護学について	(3) 家族看護の理念について世帯		講義			
4	家族看護の実践	(1) 疾患を持つ家族 (2) ライフサイクル		講義			
5	家族のとらえ方	(1) 隣接学問 (2) 看護学		講義			
6	家族の構造	(1) ジェノグラム (2) エコマップ		講義			
7	家族機能	(1) 育児機能		講義			
8	家族機能	(2) セルフケア機能		講義			
9	家族機能の変化	(1) ダブルケア (2) モデル		講義			
10	現代家族の形態の変化	(1) 世帯 (2) 人口		講義			
11	現代家族の多様性	(1) 出生率		講義			
12	現代家族の多様性	(2) 結婚		講義			
13	現代家族の課題	(1) ジェンダー役割 (2) 子育て		講義			
14	家族の発達段階	発達段階の特徴と課題		講義			
15	家族システム論	重要な概念		講義			
	試験 (1 時間)						
評価方法	筆記試験 (100 点満点、持ち込みなし) 出席時間						
教科書 参考文献	系看基礎分野 家族看護学 (医学書院)						
事前準備や 受講要件等	教科書を読んで講義に臨むこと。						

授業科目	人間関係学	担当教員	非常勤講師☆ 竹内 まふみ	単位数	1	時期	1年次 4月～9月
				時間数	30		
目的と目標	<p>自分自身、自分を取り巻く環境及び自己と環境との関係を多面的にとらえることを通して、現代における人間の存在に意味づけを行う。その上で、さまざまな人々との関係をよりよく構築する方法を身につける。</p> <p>1 自分自身を知る。 2 私たちを取り巻く環境の変化を理解する。 3 自分と環境（広義）の関係のあり方を理解する。 4 環境とのよりよい関係を築く方法を身につける。</p>						
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1 2	自己理解	(1) 心理検査法 (2) 交流分析理論 (3) ライフストーリー		講義 GW	非常勤講師 (竹内まふみ)		
3 4	環境の変化	(1) 自然環境の変化 (2) 社会システムの変化 (3) 科学技術の発展		講義			
5 6	人間と環境との関係	(1) 開発と環境保護 (2) 社会システムと人間の自律 (3) 科学技術と人間との距離		講義			
7 8 9 10	人間と人間の関わり合い	(1) 人間観の歴史的変遷 (2) 親子関係 (3) 教育における人間関係 (4) 組織における人間関係 (5) 友人関係		講義			
11 12 13 14 15	人間関係の構築方法 (9時間)	(1) ことばの大切さと使い方（表現） (2) カウンセリングとは (3) 援助的かわり（技法） 傾聴・受容 自己開示 質問力 表現力 (4) 多様な価値と普遍的な価値		講義 演習			
	試験（1時間）						
評価方法	筆記試験						
教科書 参考文献	系看基礎分野 人間関係論（医学書院）						
事前準備や 受講要件等	教科書を読んで講義に臨むこと。						
☆担当教員 の実務経験	臨床心理士として、医療機関等に勤務した経験を活かした授業展開をする。						

授業科目	保健体育	担当教員	非常勤講師 梶田 徳子	単位数	1	時期	1年次 4月～6月
				時間数	30		
目的と目標	<p>身近な競技・スポーツを楽しみながら、心身のリフレッシュ、健康の保持増進を図るとともに、コミュニケーション力や集団での協調性を高める。</p> <p>1 正しいルールのもとで、楽しく体を動かす。</p> <p>2 健康の維持増進ができる。</p> <p>3 集団での協調性を身につけることができる。</p> <p>4 コミュニケーション力、リーダーシップ・メンバーシップを培う。</p>						
回数	学習課題	内 容		方 法	担 当 教 員		
1	オリエンテーション	(1) 体育の目的や準備運動の計画		講義 実技	非常勤講師 (梶田徳子)		
2	集団レクリエーション	(2) 集団レクリエーションの企画・立案					
3		(3) 実施					
4	集団スポーツ	(1) 基礎技術		講義 実技			
5	(ビーチボールバレー)	(2) ルールの説明、チーム分け					
6		(3) ゲーム					
7							
8	集団スポーツ	(1) 基礎技術		講義 実技			
9	(バドミントン)	(2) ルールの説明、チーム分け					
10		(3) ゲーム					
11							
12	集団スポーツ	(1) 基礎技術		講義 実技			
13	(インディアカ)	(2) ルール説明チーム分け					
14		(3) ゲーム					
15							
評価方法	出席状況、授業態度により評価する。						
教科書 参考文献							
事前準備や 受講要件等	2回目以降、外部借用施設（体育館）にて実施						